

『元気なおびひろ』

「フードバレーとかち」構想の推進 ・「産業連携室」を部として設置 ・構想推進事務費	8,816千円
中国・東アジアへの展開 ・成長著しい中国市場をターゲットとした販路開拓事業の実施 ・中国人観光客の北海道、十勝、帯広への誘致を図るためのプロモーション事業の実施	7,218千円
3大都市圏への展開 ・首都圏及び中京圏で販路拡大事業の実施 ・首都圏、中京圏、関西圏との人的・物的交流の促進を図るため、とかち帯広空港利用促進キャンペーン等を実施	6,300千円
「ベーカリーキャンプ2010」の開催 ・十勝産小麦をテーマとした「ベーカリーキャンプ」の開催	2,000千円
口蹄疫対策 ・口蹄疫等家畜伝染病に対する予防の強化及び防疫資材の備蓄	1,750千円

農業生産基盤・施設整備 ・地域の基幹作物である小麦の生産量拡大、品質向上のため、穀類等乾燥調製貯蔵施設等の整備を支援 ・これからの中核的な担い手としての農業後継者、新規就農者の農業機械導入に対する支援 ・道営畑地帯総合整備事業により、大正南地区での基盤整備を実施	1,192,969千円
地域経済活性化対策 ・持ち直しつつある地域経済の本格的回復に向け、生活基盤整備及び公共施設の省エネ化改修等の公共事業を追加 ・中小企業の資金調達円滑化を図るため、セーフティネット資金及び保証料補給金を追加	814,201千円
雇用対策 ・離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創出（雇用者数40人、うち失業者 37人） ・地域の実情や創意工夫に基づく地域求職者等の雇用機会を創出（雇用者数10人、うち新規雇用10人）	143,190千円

『人にやさしいおびひろ』

学校の耐震化 ・栄小学校体育館改築実施設計 ・耐震化を要する校舎の耐震補強実施設計（改築予定等を除く16校）	80,800千円
災害時要援護者の避難支援計画作成 ・要援護者の把握・登録及びモデル2地区での避難支援個別計画の作成	5,393千円
中等度難聴児への補聴器購入費助成 ・言語習得に大きく影響を与える幼児期に、言語訓練及び集団等での生活訓練の促進を図るため、補聴器購入費の一部を助成	352千円
依田保育所1・2歳児受入枠の拡充 ・低年齢児の入所定員の増（1歳児 5名増、2歳児 3名増）	1,961千円
母子家庭等就業・自立支援センターの設置 ・北海道と連携し、母子家庭の母親等の自立に向けた就業・生活支援を実施	1,466千円

『人輝くおびひろ』

朝陽市友好都市締結10周年記念事業 ・交流の発展に向け、未来のまちづくりを担う若い世代を交えた、親善訪問団の相互派遣	7,500千円
放課後こども教室の拡充 ・新規 2校 ・安全管理員の増員	720千円
社会教育施設連携アクションプログラム ・図書館、百年記念館、動物園、児童会館が連携し、「未来へつなぐ ふるさと おびひろ」をテーマとした展示・イベント等を開催	1,500千円
アイヌ民族の理解促進 ・生活館で「アイヌ生活文化展」を開催 ・各公共施設でアイヌ民具等の移動展を開催	1,500千円
新たな学校給食調理場の基本構想策定	740千円

平成22年度 6月補正予算

総額 3,083,511 千円

< 主要な事業を記載 >

『環境都市おびひろ』

環境基金の創設 ・市民・民間企業の省エネ化等による効果額を原資とした寄附金や、公共施設等の省エネ効果額などを積み立て、市民・民間企業等の創エネ・省エネ化に向けた取り組みへの支援に活用し、更にその資金が拡大し循環する仕組みの契機として基金を創設	11,177千円
新エネルギー導入促進事業の拡充 ・補助対象機器にエコジョーズ、エコキュートを追加し、一般家庭における省エネ化、CO2排出量削減を促進	6,970千円
防犯灯の省エネルギー化促進 ・町内会設置防犯灯の省エネルギー型照明灯による整備及び更新を支援	8,000千円
太陽光発電システム整備 ・森の交流館・十勝、稲田浄水場への太陽光発電システムの導入に向けた実施設計	4,500千円
公共施設の省エネ化改修（地域経済活性化対策（再掲）） ・民間への普及モデルとなるような既存公共施設での省エネルギー化改修の実施	109,304千円

『未来に続くおびひろ』

市民対話推進事業	480千円	総合計画推進事業	560千円
議会中継システムの導入	3,696千円		